

分担金・拠出金の名称	国際移住機関(IOM)(分担金)	評価	A
拠出先の国際機関名	国際移住機関(IOM)		
国際機関の概要	<p>・IOMは、難民・国内避難民支援、人身取引対策、緊急人道支援等の「人の移動」において、輸送支援を中心に豊富な知識と経験を有する。 ・特に、近年、国際的な人の移動が活発化するにつれ、人身取引等人の移動に関する「負の側面」が深刻な問題となっており、移住の管理行政部門で突出したノウハウを有するIOMの役割に注目が集まっている。 ・IOMのこのような活動を支援することを通じて、紛争地域周辺の安定と平和の維持、自然災害被災地の迅速な復興等「人の移動」に関する深刻な問題への対応が可能となる。</p>		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標	達成状況		
<p>1. (1) 成果目標:IOMを通じ、人道支援等我が国重要外交課題を遂行し、我が国実施事業との相互補完性を高める。</p> <p>活動指標:IOMの我が国重要外交政策課題への貢献、IOMの人道活動実績、IOMによる在外邦人安全確保への支援</p>	<p>・我が国はIOMを通じて、重要な外交政策の柱の一つである人間の安全保障確保のための人道支援を毎年積極的に実施。例えば、エボラ出血熱関連支援を含むアフリカ地域、ISIL等イスラム過激派の伸張による中東等各地域向け支援を実施。本年4月のネパール地震発生の際は、我が国緊急援助隊活動終了直後にIOMがシェルター支援を開始するなど、我が国と連携し切れ目のない支援を実施。 ・昨年の国連総会で安倍総理がIOMのプロジェクトに言及したように、我が国重要施策の女性支援事業も、我が国支援を通じた人道支援において積極的に実施。 ・在外邦人の安全確保の面からは、治安情勢が悪化した各国からの在留邦人の国外退避・帰国について全面的に協力。</p>		
<p>(2) 成果目標:IOMの意思決定における我が国のプレゼンスを確保する。</p> <p>活動指標:IOMトップを含めた幹部の我が方との情報交換・意見交換、IOMの意思決定プロセスにおける我が国の意向の反映、邦人職員活躍機会の提供による我が国政策の実現。</p>	<p>・トップであるスウィング事務局長は2008年の就任以来毎年訪日(計8回)、政務レベル及び外務省幹部と政策的に協議するなど、非常に緊密な関係を構築。同事務局長は本年既に計2回(2月及び3月)訪日し、我が国支援に対する謝意表明とIOMの活動報告を行っている。 ・IOM総会(年一回)に我が国は主要ドナーとして出席し、ステートメント、決定承認プロセスへの参加等で我が国のプレゼンスを積極的に確保。年二回行われるプログラムと予算に関する常設委員会(SCPF)会合においても我が国の意向を表明。 ・ネパール地震発生(本年4月)の際は、IOMを通じた我が国拠出による案件形成・実施のためIOM本部から邦人職員が派遣され、我が国がネパールに対し切れ目のない支援を行うためのきめ細かな調整に当たった。更に官民連携分野では、アフリカにおける人道支援等に際し、邦人職員の調整により我が国民間企業との連携案件が実現。</p>		
<p>(3) 成果目標:IOMへの拠出を通じて、人道支援分野における我が国の意見を反映する。また、IOMが適切な組織・財政マネジメントを行う。</p> <p>活動指標:人道支援分野における我が国の貢献に関する広報、組織としての財政マネジメント</p>	<p>・我が国支援により実現したプロジェクトについて、IOMは現地及びHP上で積極的に広報を実施(記者会見等含め)。 ・IOMの活動が拡大する中(1996年→2013年、加盟国数3倍、事務所数約3倍)、IOMはジュネーブ本部機能の一部を(コストがより安い)パナマやフィリピンに移転する等の機構改革により経費削減に最大の努力。</p>		
<p>(4) 成果目標:IOMにおける邦人職員増強を図る。</p> <p>活動指標:IOMにおける日本人職員数の増加、邦人職員増強に向けたIOMの取組、IOMにおける幹部ポストの確保。</p>	<p>・スウィング現事務局長(2008-)は邦人職員の増強に非常に力を入れており、事務局長就任以降成果が上がっている(2008年の13名→2012年の21名、61%増)。 ・邦人幹部職員は計4名(太平洋地域担当事務局長顧問(D-1)、法務部チーフ(P-4)、地域事務所スペシャリスト(P-4)、本部事業対応部シェルター担当官(P-4))。</p>		
2. PDCAサイクルの確保	<p>①計画段階(Plan):加盟国に義務的に課される分担金(管理予算)が国連の分担率を準拠しIOM総会で決定、 ②実施段階(Do):IOM本部で実施。モニタリング(IOM本部を通じた報告) ③評価段階(Check):最終報告を踏まえ外務省が確認・評価 ④フォローアップ段階(Act):政府代表部とIOM本部の間での意見交換やIOM側幹部訪日等を通じて、問題点の指摘やより効率的な案件選定に向けた検討。</p>		
担当課・室名	国際協力局 緊急・人道支援課		